

## 上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 日吉 和裕

①重点施策項目名	安全安心な水道施設整備を行います
②目標値	配水管耐震率 〔令和元年度〕現状値 17% ⇒ 令和元年度末 18% 〔後期基本計画期間〕平成26年度 12.3% ⇒ 令和2年度 19%
③今年度の取組方針	繰越した浄水場施設更新等工事の早期完成に加え、今年度は安楽寺水源地の耐震化を図るための実施設計を行います。 また、昨年度に着手した導水管や配水管幹線の基幹管路の更新や耐震化についても、引き続き整備を進め、管路施設の基本計画に沿って安全安心な水道施設の整備を実施していきます。
④今年度の取組結果	浄水場更新等工事については、各工区順次完了し、来年度8月末に全ての工区が完了の見込みであり、安楽寺水源地の耐震化を図るための実施設計は、6月に着手し、2月末に完了しました。 また、導水管や配水管幹線の基幹管路の更新及び耐震化についても、今年度当初の計画どおり整備を進めました。
⑤数値目標の結果	配水管耐震率 〔令和元年度末目標〕 18% 〔令和元年度末結果〕 17.8%
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	水道施設の更新計画に基づいた施設整備を実施し、老朽化した水道施設を耐震性のある施設へ更新することで、耐震性の向上を図っています。 次年度も導水管及び配水管幹線の基幹管路については、引き続き関係機関等と十分な協議を進め、安全で安心な水道施設の計画的な更新及び耐震化に努めて参ります。

## ◇上下水道局長の指示

引き続き、関係機関等と十分な協議に努め、安全で安心な水道施設の計画的な更新及び耐震化を推進していくこと。

## 上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 日吉 和裕

①重点施策項目名	効率的な下水道関連整備・効率的な汚水処理の実現
②目標値	公共下水道接続箇所 〔令和元年度〕現状値 4箇所 ⇒ 令和元年度末 5箇所
③今年度の取組方針	昨年度に農業集落排水施設の下野地区を公共下水道に接続しました。 今年度は最後に残った於保里地区を接続し、今後は全て公共下水道事業のもとに管理を行い、効率的で効果的な汚水処理の実現に努めてまいります。
④今年度の取組結果	農業集落排水施設の於保里地区の公共下水道への接続については、関係機関等との協議が整った後、12月に接続する管路築造工事に着手し、3月中旬に完了の見込みです。
⑤数値目標の結果	公共下水道接続箇所 〔令和元年度末目標〕 5箇所 〔令和元年度末結果〕 5箇所
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	これまでに農業集落排水施設を公共下水道に接続し、施設の一元化を図ることで、維持管理費等の削減を図っています。 今後は、全て公共下水道事業の管理のもとで、適切な運営に努めて参ります。

## ◇上下水道局長の指示

今後とも計画的かつ効率的な事業の推進を図ること。

## 上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 日吉 和裕

①重点施策項目名	浄化センター長寿命化計画の着実な推進を図ります
②目標値	計画的な施設更新
③今年度の取組方針	鳥栖市浄化センターは供用開始をしてから30年ほどが経過し、施設の老朽化や機能低下が見受けられます。今後も安全に施設を運用していくための「浄化センター長寿命化計画」に基づいた工事を継続的に行い、事故を未然に防止するために、適正な維持管理に努めてまいります。
④今年度の取組結果	昨年度から継続しています浄化センター長寿命化工事の汚泥処理設備工事及び電気設備工事については、3月末に完了の見込みです。 また、本年度から2ヶ年で計画しています水処理設備工事及び電気設備工事については、日本下水道事業団と8月に協定を締結し、10月及び1月に工事に着手しました。
⑤数値目標の結果	浄化センターの長寿命化は、計画に基づいて施設更新ができています。
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	下水道施設の健全な運営を考慮しますと、早期の施設更新等が望まれますが、更新等を実施するためには、費用も増大することから、今後実施していきますストックマネジメントも視野に入れ、安全で効率的な施設更新に努めて参ります。

## ◇上下水道局長の指示

今後も適切な維持管理に努めるとともに、計画的かつ効率的な事業の推進を図ること。

## 上下水道局事業課長の仕事宣言！

事業課長 日吉 和裕

①重点施策項目名	雨水対策事業による慢性的な浸水の解消を図ります
②目標値	進捗率 〔令和元年度〕現状値 13% ⇒ 令和元年度末 30%
③今年度の取組方針	旭地区の浸水対策は長年の課題であり、この慢性的な浸水の軽減を図るために昨年度から雨水対策事業に着手しました。 今年度は、実施計画に基づき雨水整備工事を更に延伸し、国や県とも連携を図りながら浸水被害の早期解決を目指していきます。
④今年度の取組結果	旭地区の雨水対策事業については、昨年度に県河川であります西田川へ接続する工事を実施し、今年度、その上流側を引き続き4つの工区に分け、10月から工事に順次着手しておりましたが、一部の工区において、工事における支障物件の移設に不測の日数を要したため、7月に完了の見込みです。
⑤数値目標の結果	進捗率 〔令和元年度末目標〕 30% 〔令和元年度末結果〕 24%
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	旭地区の雨水対策事業については、国と県と市と一体的な整備が必要であります。 今後も国、県の事業進捗と調整を図りながら、雨水対策事業の事業推進に努めて参ります。

## ◇上下水道局長の指示

今後も国、県の事業進捗と調整を図りながら、計画的な事業の推進を図ること。